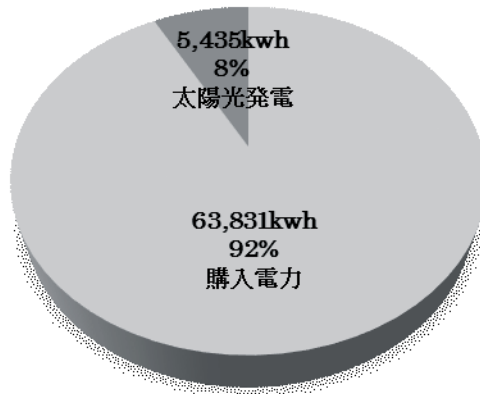


③藤里中学校

(単位：kwh)

	年間使用量	月平均
H 2 5	64,312	5,359
H 2 6	63,831	5,319
H 2 5 比増減	▲481	▲40
太陽光発電分	5,435.36	452.94

平成26年度太陽光発電割合



平成26年度の電気使用状況は、平成25年度に比べ、年間481kwh減少しています。これは、太陽光で年間5,435kwh発電されたことで、減少したものと分析されます。

太陽電池を設置している方向が南東のため(三世代・小学校はほぼ真南)、発電量が劣っています。他の施設より電力減少量が小さいですが、省電力化へ貢献しています。

以上、三施設の発電と電気使用量の分析をしましたが、まだ始めてから1年しか経過しておらず、こうした統計は、最低5年程度は継続しないときちんとしたデータは得られないと思われます。

各施設とも、イベント等使用状況により電力消費量は変化します。特に、三世代交流館は国民文化祭が開催された関係上、準備期間も含め前年度より電力消費量は伸びています。

今後様子をみながら、毎年継続して分析し、広報でお知らせしていきます。

【お問い合わせ先】 藤里町教育委員会 ☎79-1327

交通死亡事故ゼロ

5000日達成

5月4日、町の交通死亡事故ゼロ日数が5000日を達成しました。この記録は平成13年8月26日から継続中で、秋田県内で歴代最長となります。

5月21日には、役場議場で町交通指導隊や交通安全協会関係者が見守る中、交通死亡事故抑止5000日継続表彰伝達式が行われました。

式に先立ち、能代山本地区安全運転管理者協会から交通安全のぼり旗とポール50組が寄贈され、福田会長から佐々木町長に手渡されました。

式では、はじめに菊子山本地域振興局長が県知事からの表彰状を、次に湊能代警察署長が県警本部長顕彰を佐々木町長に伝達しました。



県警本部長から顕彰



交通指導隊のみなさん

これを受けて佐々木町長は、「国道も鉄道もない町で公共交通機関が少ないため自家用車の使用頻度が高い。そうした中でこのような記録を達成できたことは、町民一人一人の交通安全への高い意識と心構えや交通安全協会はじめ関係各位の指導のたまものであり、深く感謝申し上げる。今後も関係機関の皆様と連携をはかりながら、交通安全を推進し、安全・安心な町づくりを目指していきたい。」と謝辞を述べました。